Creative Enzymes®

牛乳由来のネイティブキサンチンデヒドロゲナーゼ

Cat. No. NATE-1065

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	キサンチンオキシダーゼ還元酵素（XOR）は、ヒポキサンチンとキサンチンから尿酸を生成する反□を触媒し、プリンの分解の最後の2つのステップを担っています。哺乳類の酵素は、NADを電子受容体として使用するキサンチン脱水素酵素型（XDH, EC 1.17.1.4）として合成されますが、可逆的（チオール基の酸化を通じて）または不可逆的（プロテオリシス）な方法でキサンチンオキシダーゼ型（XO, EC 1.1.3.22）に□換されます。ほとんどの工業的なXOR精製プロトコルにはプロテオリシスステップが含まれているため、市販のXOR酵素はNADを電子受容体として使用できないオキシダーゼ型のみが入手可能です。
別名	キサンチン脱水素酵素; NAD+-キサンチン脱水素酵素; キサンチン-NAD+ 酸化還元酵素; キサンチン/NAD+ 酸化還元酵素; キサンチン酸化還元酵素; XDH; EC 1.17.1.4

製品情報

種	ウシ
由来	牛乳
形態	凍結乾燥された
EC番号	EC 1.17.1.4
CAS登□番号	9054-84-6
単位定義	1単位のXDHは、pH 8.8で1分あたり1μmolのNADの還元を触媒し、同時にヒポキサンチンを尿酸に酸化します。